

高齢者の薬に詳しくなって、認知症ケアの腕を上げよう

認知症ケアが上達する薬の知識

福島
会場

薬によってお年寄りがどう変わるかを知らなければ、
これからの高齢者介護はできない！

山形
会場

2018年

日時: 6月28日(木) 10:30~16:00

会場: 福島テルサ
(研修室「つきのわ」)

(福島県福島市上町 4-25)

☆JR「福島」駅より徒歩 10分

2018年

日時: 6月29日(金) 10:30~16:00

会場: 山形テルサ (研修室A)

(山形県山形市双葉町 1-2-3)

☆JR「山形」駅から徒歩 3分

< 認知症介護&医療の全てが分かる 1日コース >

【講師】

ひがしだ つとむ

東田 勉



フリーライター。介護・福祉・医療分野の綿密な取材をもとに執筆した著書は多数。

2014年に刊行された『認知症の「真実」』(講談社現代新書)はベストセラーに。長尾和宏医師との共著『認知症の薬をやめると認知症がよくなる人がいるって本当ですか?』(現代書林)、村瀬孝生氏との共著『認知症をつくっているのは誰なのか』(SB新書)、近著に『親の介護をする前に読む本』(講談社現代新書)がある。

へ
プ
ロ
グ
ラ
ム
▽

10:30 ~ 11:30 認知症医療の最前線の動き

なぜ認知症はこんなに増えたのか/海外から批判されている日本の認知症対策/症状による4大認知症の見分け方/高齢になるほど増える合併と移行

11:45 ~ 12:45 抗認知症薬のメリットとデメリット

中核症状とBPSDへの薬の使い分け/抗認知症薬の増量規定/いまさら聞けないアリセプトの作用と副作用/認知症のコミュニケーション障害にどう対応するか

(昼食)

13:45 ~ 14:45 高齢者への薬物療法の極意

第一線の認知症医が導き出した結論/抗認知症薬が認知症を悪化させる/コウノメソッドの画期的な投与方法/リバスチグミンとシロスタゾール/意識障害とせん妄への対応

15:00 ~ 16:00 介護職は何ができるのか

デビルメソッドからお年寄りを救い出せ/声をあげ始めた医師たち/アルツハイマー病の真の問題とは何か/心理学からのアプローチと介護からのアプローチ

*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合はみ一週間以内にご連絡さし上げます。

【受講料：6,000円】

*受講料は当日会場で承ります。

主催

なるほどケア塾

〒189-0011

東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 榊園窓社内

お問い合わせ

☎042-306-3771

お申し込みはこちらへ Fax

Fax: 042-306-3772

< 参加人数 >

< 参加者名 >

*施設の場合は施設名もご記入ください。

< 住所 > 〒

(自宅・職場)

< TEL >

< FAX >

6/28(木) 福島

()名

6/29(金) 山形

()名